

令和元年度 第1回学校運営協議会 議事録

- 開催日時：令和元年6月27日（木）14時30分～16時00分
- 会場：本校応接室
- 出席者
 - ・手塚 誠 櫻蔭会（本校同窓会）・会長
 - ・小竹 護 横浜市立希望ヶ丘小学校・校長
 - ・松本 真哉 横浜国立大学大学院環境情報研究院・教授
 - ・杉山 勝巳 横浜システム工学院専門学校・学院長
 - ・青井 純子 希望が丘商店会・会長
（青木 桂一 希望が丘商店会（参席））
 - ・吉田 愛里 本校全日制PTA・会長
 - ・小林 佳子 本校定時制PTA・会長
 - ・宮地 淳 本校・校長

<事務局>

- ・福田 浩之 本校・副校長
- ・佐藤 公彦 本校定時制・校務運営グループリーダー
- ・福士 徹也 本校全日制・連携グループサブリーダー

○ 次 第

1 開会

2 校長挨拶

- ・今年度、最初の会議となる。従来の学校評議員委員会と比べると、少人数。
- ・県立高校・中等教育学校すべてでコミュニティ・スクールを導入。
- ・学校運営協議会は、学校長と委員の皆様方で成り立つ組織である。お忙しい中、恐縮だが、よろしく願います。

3 学校運営協議会委員委嘱

- ・県教育委員会からの委嘱状の配付
- ・各委員より自己紹介

4 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について

- ・事務局より「コミュニティ・スクール」について概要を説明。
→質疑などなし

5 令和元年度学校教育計画について

- ・事務局より「学校要覧」により説明

(委員)「学校教育目標」に掲げられている5つの「教育目標」について尋ねる。

(校長)学校創立以来の目標である。この教育目標のもとに、中長期の目標を設定している。

→全会一致で承認。

(校長)次年度に向けては、3月の学校運営協議会において協議をお願いする予定である。

6 本校の現状について

- ・事務局より全日制・定時制それぞれについて説明
→質疑などなし

7 意見交換

(校長)小学校におけるコミュニティ・スクールについて尋ねる。

(委員)今年度に入り、2回開催。人事等の案件については、学校の抱える課題への対応をお願いすることが想定される。

(委員)SSHと人事は連動するのか。

(校長)連動するように校長として県教育委員会に働きかけをしている。全日制においては、教員(理科)が1名加配。理科・数学科・情報科だけではなく、学校全体で取組を進めている。SSH指定を受けたことで、県やマイクロソフトの支援を受け、IT環境の整備が進んでいる。

(委員)SSHは理数系だけなのか。

(校長)これからの社会で活躍するトップ人材の育成が使命。全校生徒に対して、5つの方向性に基つき教育していく。

(委員)学校運営協議会として、どのように生徒や学校に関わっていくのか。これからのビジョンを伺いたい。

(事務局)今年度は、学校運営協議会を3回開催予定。今年度設置の地域連携部会をはじめ、次年度に向けてキャリア支援部会(仮)について、議論させていただきたい。

(校長)部会について。委員の方々だけではなく、実働として、本校の教職員やPTAや地域の方々等に協力をお願いしたい。学校評価について。委員の方々をお願いする学校評価部会において、意見などをいただくことになる。

(委 員) 職業ワークショップについて伺う。

(校 長) 分野ごとに卒業生に依頼している。櫻蔭会に力添えをいただきたい。

8 その他

- ・第2回学校運営協議会の開催は、11月2日（土曜日）の予定。当日は、定時制の文化祭を実施。